

**製品名: アリールスルファターゼ K ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07188**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	62kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ARSK
別名	ARSK; TSULF; Arylsulfatase K; ASK; Telethon sulfatase
遺伝子 ID	153642.0
SwissProt ID	Q6UWY0
免疫原	抗血清はヒト ARSK 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 481-530

**背景**

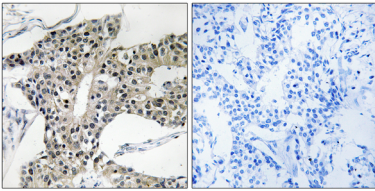
ARSK などのスルファターゼ (EC 3.1.5.6) は、硫酸化ステロイド、炭水化物、プロテオグリカン、糖脂質から硫酸エステルを加水分解します。ホルモン生合成、細胞シグナル伝達の調節、高分子の分解に関与しています (Sardiello et al., 2005 [PubMed])

16174644] )。[OMIM 提供、2008 年 3 月],補因子: サブユニットあたり 1 個のカルシウムイオンを結合します。 ,PTM: 原核生物ではセリンまたはシステイン残基、真核生物ではシステイン残基を 3-オキソアラニン (C-ホルミルグリシン、FGlyとも呼ばれる) に変換することが、触媒活性に重要です。 ,類似性: スルファターゼファミリーに属します。 ,

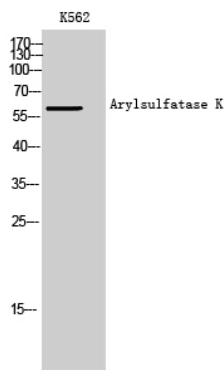
## 研究分野

-

## 画像データ



ARSK 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



アリールスルファターゼ K ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析